

1. 現庁舎の抱える課題

- 老朽化
- 耐震性
- アスベストの飛散
- 狭あい・本庁機能の分離
- バリアフリーユニバーサルデザイン
- セキュリティ

2. 現庁舎の継続利用と新庁舎建設の比較検証

- ライフサイクルコストの比較
- 課題の解消状況

3. 新庁舎建設の必要性

合併特例債を活用して新庁舎を建設することが必要

4. 新庁舎に求められる機能(案)

現庁舎との機能比較

機能	現機能の充実
機能	現機能の大幅な向上
機能	新たな機能

第4回委員会からの修正箇所

1 市民サービスの向上

(1) 案内機能	総合案内所の設置／わかりやすい庁舎内案内板の導入／障がい者、高齢者、外国人市民にもわかりやすい案内方法の導入／コンシェルジュの配置
(2) 窓口機能	窓口業務の集約配置／ワンストップサービスの導入／受付・処理状況の情報提供／安心・快適な待合い環境の整備
(3) 相談機能	窓口カウンターでのパーティション等の設置／相談ブースや相談室の設置
(4) 行政情報提供機能	市政情報コーナーの設置／企画・展示スペースの確保
(5) 便益機能	食堂、売店、金融機関等の設置
(6) ユニバーサルデザイン	ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた整備の推進／誰もが安心・快適に利用できるトイレの設置
(7) アクセス機能	来庁者用駐車場の整備／路線バスのアクセス性・利便性の確保／自転車等駐車場等の整備

2 親しみの醸成と環境保全への貢献

(1) 建物デザイン	機能性や周辺との調和を考慮した建物デザインの採用
(2) 正面玄関・ロビー	市民等が気軽に訪れやすい正面玄関・ロビーの整備／市民どうしが交流する空間の創出
(3) 緑化	庁舎敷地内における積極的な緑化
(4) 環境保全対策	環境負荷の低減と周辺環境の保全／空調に係る消費エネルギーの最小化

3 自然災害に対する強靱化

(1) 地震対策	優れた耐震性の確保／非構造部材や書棚類の固定、補強
(2) 浸水対策	庁舎の浸水防止／庁舎維持設備の浸水防止
(3) ライフラインの確保	電力の確保／給水の確保／排水機能の維持／通信回線の多重化
(4) 危機管理体制の強化	災害対策本部の機能を発揮するスペースの確保／災害対策本部の運営に必要な設備の備え付け／職員の24時間従事体制への対応／資機材倉庫の整備
(5) 非常時優先業務の継続	非常時優先業務の継続に必要な執務空間やスペースの確保

4 執務環境の向上

(1) 執務空間	間仕切のないオープンフロアの採用／フリーアクセスフロアの導入／機能的な執務空間のレイアウト／業務上のつながりを考慮した課の配置
(2) 会議、打ち合わせスペース	少人数の打ち合わせスペースの適正配置／庁内共用の会議室の設置
(3) 書庫、収納庫、更衣室・ロッカー等	文書保管スペースの効率的な確保／収納庫の確保／業務用物資、廃棄物等の搬出入空間の確保／休養室の設置／更衣室及びロッカーの設置

5 セキュリティ対策、電子情報保護対策の強化

(1) セキュリティ対策の強化	セキュリティレベルの分類／セキュリティレベル境界での物理的障壁等による練引き／セキュリティシステムの適切な導入／時間外における来庁者動線の適正化
(2) 電子情報保護対策の強化	サーバ機器の適正管理／パソコン等の盗難防止

6 ライフサイクルコストの縮減

(1) 長く使い続けることを前提とした材料・工法等の選定	標準品等の積極的採用／メンテナンスのしやすさの考慮／大型機器の更新時に活用する搬出入口の確保
------------------------------	--

